

2026 年 6 月 19 日

各位

株式会社ヤマタネ

ヤマタネグループ、鈴与、鈴与カーゴネット

第 1 回日本物流大賞にて「奨励賞」を共同受賞

～海上モーダルシフトと輸送効率化により、環境負荷低減と物流現場の負荷低減を実現～

株式会社ヤマタネ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：河原田 岩夫）および当社グループ会社である株式会社ヤマタネロジスティクス（代表取締役社長：柴崎 崇）、鈴与株式会社（代表取締役社長：鈴木 健一郎）、鈴与カーゴネット株式会社（代表取締役社長：澤入 哲雄）の 4 社は、この度、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第 1 回日本物流大賞※」において「奨励賞」を共同受賞いたしました。

今回の受賞は、海上モーダルシフトと陸上輸送を組み合わせ、環境負荷の低減と物流現場の負荷軽減および効率化を実現した取り組みとして評価されたものです。

※本賞は、旧「物流環境大賞」および旧「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」を発展的に統合して新たに創設された表彰です。従来の「環境負荷低減」や「モーダルシフト」に加え、「事業者間連携・先進技術活用・働き方改革貢献」など、持続可能な物流の実現に向けた優れた取り組みを広く顕彰するものです。

「続く」を支える。

ヤマタネ



鈴与株式会社

ヤマタネロジスティクス



鈴与カーゴネット

【受賞の概要】

案件名：青森県各生産地から千葉県印西市までの RORO 船輸送への転換

～秋田県・宮城県の各生産地から千葉県印西市への玄米幹線輸送における

3 軸トレーラーを使用した車両大型化～

受賞者：鈴与、鈴与カーゴネット、ヤマタネ、ヤマタネロジスティクス

【内容・効果】

東北各地から千葉県向けの玄米輸送において、従来は各産地から千葉県まで 10t 車によるバラ積みの陸上輸送を行っていましたが、産地ごとに積載率のばらつきが生じていたため、全量をパレット化した上で以下の通り輸送体制を見直しました。

青森県から千葉県への輸送では、10t 車から 3 軸トレーラーへ切り替えを行ったほか、八戸港～川崎港間で RORO 船（フェリー輸送）による海上輸送に転換いたしました。また、

秋田県・宮城県から千葉県への輸送では、中継地点の仙台市にて 10t 車から 3 軸トレーラーに積み替え・集約を行ったうえでの輸送に切り替えをいたしました。

その結果、CO2 排出量 14.6t（従来排出量の 38.8%）の削減・ドライバー運転時間約 164 時間／年間（従来時間の 30.7%）の削減・パレット化による荷下ろし作業の省力化・3 軸トレーラー化によるトラック使用台数の半減という成果が上がり、輸送効率の向上・環境負荷の低減・労働負荷の軽減を同時に実現いたしました。



ヤマタネグループは、コーポレートメッセージである“「続く」を支える。”のもと、サステナビリティ経営の重点テーマ「環境に配慮した事業活動の推進」に取り組んでいます。今後は、モーダルシフトの積極的な推進とともに、事業間連携によるサプライチェーン全体の最適化を通じて、環境負荷の低減と物流の効率化を実現することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【鈴与 会社概要】

会社名	鈴与株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木 健一郎
所在地	静岡県静岡市清水区入船町 11-1
事業内容	総合物流業
URL	https://www.suzuyo.co.jp/

【鈴与カーゴネット 会社概要】

会社名	鈴与カーゴネット株式会社
代表者	代表取締役社長 澤入 哲雄
所在地	静岡県静岡市清水区清開三丁目 4 番 21 号
事業内容	貨物利用運送事業、一般貨物自動車運送事業
URL	https://www.suzuyo-scn.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヤマタネ 経営企画部 広報担当

[お問い合わせフォーム](#)